

館 報

おみ

7月号
No.712

2026. 7.25 (令和8年) 編集と発行／長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲迫力あるピアノ演奏に感動 ～公民館音楽鑑賞会～ (6月28日撮影) 関連記事2面

公民館音楽鑑賞会

公民館音楽鑑賞会を六月二十八日に地域交流センターで開催し、約八十人の皆さんが鑑賞されました（一面写真）。

今年度は、ピアニストの大室晃子さんによる「お話し付き！ピアノ名曲コンサート」と題したピアノソロコンサートで、二部構成で行いました。

第一部は「映画音楽や歌のプログラム」で、映画音楽の作曲家ジョン・ウイリアムズの「アラジン」や「スターウォーズ」、連続テ



▲保育園児の前で演奏

レビ小説「風、薫る」の主題歌「風と町」、また「朧月夜」など春にちなんだメドレーに、それぞれ解説を交えながら演奏していただきました。

第二部の「お話と演奏で紡ぐシヨパン物語」では、「英雄ポロネーズ」や「子犬のワルツ」といった曲ができた背景を、シヨパンの人生の節目をたどって語り、演奏されました。心に響く音色で、鑑賞された皆さんは深く感動されたようでした。

翌日の二十九日には、麻績小学校と筑北中学校、麻績保育園でも演奏会が開かれ、多くの皆さんが演奏を楽しみました。

新潟県糸魚川市を訪ねて

第三回麻績学級を七月十一日に開催し、新潟県糸魚川市にある「フォッサマグナミュージアム」や「長者ケ原考古館」などを視察研修しました。

小学生三人を含む十八人の方が参加され、フォッサ



▲暑い中、ご参加いただきました

マグナミュージアムまでマイクロバスを利用して移動し、学芸員の方からお話を聞きました。「ヒスイ（翡翠）の語源は『カワセミ』」であることや「もともとヒスイは白色で、不純物によって色が変わる」といったお話には皆さん驚いた様子でした。主な展示室は六つあり、ヒスイや化石など鉱物の展示、フォッサマグナと日本列島の誕生、日本と地質学の父である「ナウマン博士」のコーナーなどの幅広い展示がありました。長者ケ原考古館では、多くの土器やヒスイ文化について、発掘調査の資料が展示してあり、参加者の皆さんは、二つの施設を時間いっぱい興味深く視察されて

いました。

マレットゴルフ大会

第三十五回村長杯マレットゴルフ大会を七月十二日、麻績マレットゴルフ場で開催しました。

開会式では、マレットゴルフクラブで芝の整備をしたコースが披露され、クラブ員と一般参加者の方々が生まれ変わったコースでプレーを楽しんでいました。大会の結果は次のとおりです。

優勝 長岡 恭子（小東）
準優勝 南沢 信一（筑北村）
第三位 白井 米子（桂）



▲ナイスショット！

松本山雅サッカー教室

第一回松本山雅サッカー教室を七月二十日に村体育館で開催し、三十人が参加しました。

松本山雅FCの元選手で、現在はアンバサダーの鐵戸（てつと） 裕史さん、スクールコーチの土屋喜平さんと石山太陽さんの三人を講師にお迎えし、シュート練習後に二チームにわかれて試合を行い、最後はPK対決でサッカーを楽しみました。



▲みんなそろって記念撮影

紙芝居の会 二十周年記念講演会

今年度で二十周年を迎える紙芝居の会が七月十八日、記念講演会を地域交流センターで開催しました。

松本市で子どもの本の専門店を開いている「ちいさいおうち書店」の越高令子さんを講師に迎え、「紙芝居と絵本で元気になりましたよ」という演題で、おすめの本の紹介やエピソード、日頃の活動などについてユーモアを交えて講演されました。

また紙芝居の会は、「たぬきと山伏」を山伏の格好をして上演し、会場をわかせていました。



▲ユーモアを交えた本の紹介



▲「たぬきと山伏」の上演

保育園夏祭り

保護者会による麻績保育園の夏祭りが七月十日に開催されました。

まず、麻績学級でも演奏いただいた「花音trio」によるバイオリンとピアノのコンサートがあり、続いて保護者会の皆さんで企画した七夕飾り作りや輪投げコーナーなどの手作りのブースで、親子が一緒に楽しんでいました。

最後に、おみこしを園児たちが組ごとに交代で担ぎ、まわりの園児と保護者の皆さんは「ワッショイ、ワッショイ」と掛け声をかけて、大変盛り上がりつつありました。



▲ワッショイ！ワッショイ！



▲短冊に願いを



▲花音trioのコンサート

青色防犯パトロール

毎月一回、筑北中学校生徒の下校時刻にあわせ、子どもたちの安全を守り安心で安全な地域社会の実現に向け、青色回転灯をつけた自動車で村内を巡回する「青色防犯パトロール（通称、青パト）」を行っています。

村民の皆さんも子どもたちの犯罪被害と非行防止のため、登下校時には、地域で見守りをお願いします。



▲青色回転灯搭載車



▲青色回転灯



炎天下の中で草刈りなど作業を行った。その夜は、吐き気と頭痛がひどく、気分も悪くて眠れなかった。翌日は眠気がひどくて仕事にならず、大事をとって半日休んだ。

家族から「熱中症」ではないかといわれた。医師の診断を受けたわけではないので一概にはいえないが、インターネットを調べると症状は、そのものであった。当日の作業中は、定期的に水分補給は行っていたが、服は厚着のため汗でビシヨリであった。

七月十四日に長野県に今年初の「熱中症警戒アラート（熱中症警戒情報）」が発令された。これは、気象庁と環境省が共同で熱中症に対する「気づき」を促す目的で発表されるものである。

残念ながら、部屋で涼んでいても雑草は無くなってくれないため、暑い中でも作業をせざるを得ない。だが、命にかかわるので、もう少し気をつけようと思う。

松本山雅と麻績小二年生 「あやみどり」の種まき

松本山雅FCによる「スマイル山雅農業プロジェクト」に麻績小学校二年生が授業の一環として参加し、七月十日に青大豆の「あやみどり」の種まきを行いました。

このプロジェクトは、ホームタウンの自治体内の畑で鮮やかな大豆の栽培を通じて学びを深め、青少年健全育成などにつなげることを目的としたものです。

当日は暑い日ではありませんでしたが、スクールスタッフの小林陽介さんも駆けつけ、みんなで協力して一生懸命に作業が行われていました。



▲みんながんばりました

おみスクール パートナーズ便り

小学校の郷土料理クラブ がおやきづくり

麻績小学校クラブ活動で「郷土料理クラブ」が七月二日、地域交流センター調理室で「おやき」をつくりました。

講師はボランティアの塚原さとみさん（明治町）で、生地などは事前に準備をしてあり、子どもたちは、その生地に具を入れて蒸し、できたてのおやきをおいしそうに食べていました。



▲おやきづくりに挑戦

社会を明るくする運動

毎年七月は「社会を明るくする運動」の強化月間と再犯防止啓発月間ということで、七月一日に保護司の皆さんが聖高原駅前で啓発活動を行いました。

「生きる力 支える力 再犯をなくせば地域はもっと豊かになる」という法務省の黄色いチラシを駅利用者の皆さんへ配布していました。



▲聖高原駅利用者にチラシを配る

救急車の到着前に できることを

日赤奉仕団による救急法の短期講習会が七月十日、地域交流センターで開催されました。

講師に日赤救急法指導員



▲心肺蘇生の手順を学ぶ

の清水啓二さんをお迎えし、人が倒れた時など傷病者が発生した時、救急の一九番通報を行い、到着するまでの間の一次救命処置を詳しく実技を交えながら説明されていました。

倒れている人を発見し、心肺蘇生を行う手順として、「①意識を確認し、必要があれば協力者を呼んで一一九番通報」「②呼吸を確認し、必要があれば胸骨圧迫と人工呼吸」「③AED（自動体外式除細動器）の電源を入れ、パットを貼り、機械の指示が出たらボタンを押す」ということでした。いざとなった時に対応ができるよう、参加者の皆さんは手順を確認しながら真剣に取り組んでいました。

親子で心身を整える 姿勢について学ぼう

麻績小学校の学校保健委員会が七月四日に地域交流センターで開催され、全校児童と保護者が集まりました。

その中で「親子でつくろう！自分史上、最高のカラダ」と題し、生活習慣姿勢スタイリストの阪上晃子さんによる姿勢についての講演会がありました。

ビデオとプロジェクトをつなぎ、「舌は、上あごにつける」「足の指は、まっすぐ床につける」などといった正しい姿勢や体操を行い、ホールの大画面に映しながら解説されました。



▲正しい姿勢を親子で確認

元氣通信!!

今月の小・中学校

麻績小学校

五年生海の学習

海の学習では、多くの貴重な体験ができました。名古屋港水族館では、たくさんの海の生き物を間近で見ることができました。イルカショーを楽しんだり、バックヤードを見学して水族館で働く人の姿を学んだりすることもできました。日間賀島では、麻績村と



▲タコ（多幸）とフグ（福）の日間賀島

は違った海に囲まれた土地の様子を感じることができ、海水浴やつりを楽しみました。三菱自動車工業岡崎製作所の見学では、大規模な自動車組み立てラインを歩きながら見学することができ、その規模の大きさに子どもたちは驚きの声を上げていました。この二日間、多くのことを学んだり感じたりすることができ、忘れられない大切な思い出となりました。



▲たこ駐在所（日間賀島駐在所）

筑北中学校

聖山登山

一年 飯森 昊

僕たちは六月に、聖山登山に行きました。特に思い出に残ったことや、楽しかったことを紹介したいと思います。

まず、思い出に残ったことは、みんなと一緒に楽しく登っている時です。ただ、一番の思い出に残っていることは、山頂についた時に見えた眺めのいいきれいな景色です！



▲思い出の聖山登山

な景色です！その他に楽しかったことは、全部です。聖山登山の全てが楽しかったのですが、一番は登山の行程です。他にもお昼をレイクサイドで食べ、散策などをしましたが、僕自身が登山はなかなかしない経験なので一番楽しかったです！

中信地区予選会

二年 待井未桜奈

私たち、筑北中学校女子バレーボール部は六月十三日に長野県中学校総合体育大会夏季大会中信地区予選会に出場しました。豊科南中学校と合同でこの日の大会までたくさん練習してきました。

私がまだ一年生のときはただ練習してただけで、全く目標はありませんでした。だからつまらないと思ったことがたくさんあったし、辞めたいなと思うこともありました。しかし先輩たちの姿を見ていく中で、

「ああなりたい」「もっと上手になりたい」という思いが段々強くなっていききました。

中体連では一年生のときに感じたことを思い返しながらか試合に臨むことが出来ました。

試合中はうまくボールを返せるときもあったし、カバーできたりもしたけど全く違う方向にボールが飛んでいつてしまったり、ブロックがうまく出来なかったこともありましたが、最後まで諦めず粘り強くプレーすることができたので、本当に良かったです。



▲ボールに集中

麻績の神社と 薙鎌信仰について

(その十八)

高と諏訪の関係について

村誌に「南北朝時代の康安年中（一三六一～一三六二年）高村織部南朝に従い、境木山に高城を築くと伝えられる」とある。高城は筑北地方において、唯一の南北朝方の拠点であった。

南北朝時代とは、奈良県吉野と京都に朝廷があつて対立抗争した時代で、延元元（一三三六）年から元中九（一三九二）年までの五十七年間である。

諏訪氏は南朝方で、信濃における主力武將は諏訪直頼で、南朝方の征東將軍宗長親王の味方であつた。

高城主高村織部と岩見は、二代に亘つて、信濃宮宗長親王を奉ずる諏訪頼継に従い各地に参戦するが、南朝方勢力を失い、応永二（一三九五）年敗退引き上げの途次、堂峰山五輪ヶ窪において、従士と共に自刃した

との伝承がある。

高村織部から五代の備後茂久は養子で、諏訪盛繁の次男だという。往時諏訪氏との関係が深かつた。

日向神社の宝物、天文期以前とされる薙鎌は、茂久婿入りの土産とも推測されるのである。

高の「おこやいづやめ」について

日向神社は由緒によれば「往昔聖山中復諏訪の森に祀られていた高社宮司社」だという。社宮司【しやぐうじ】は、古代から神である。「おしやぐじ」「みしやくじ」「おんとく」「おしやくじさま」ともいう。

後に、諏訪の神に変身し、祭神は建御名方命で、高を守る産土神【うぶすながみ】となる。産土神とは、「自分の生まれた土地の守り神」という意味で、「オボスナ」「オボッチ」ともいう。

大正十二（一九二三）年旧高地域の六社を合祀して日向神社となる。

村誌麻績村の地字名高村

の項に「諏訪の森」の地名はないが、「しやくん神・社宮司免・社宮司」の地名が見られる。「社宮司」は、日向神社社地周辺と推察される。

村内の「社宮司」は、村誌神社分布の概況によれば、麻績町村・矢倉村・野口村・上井堀村・桑山村・高村に九社ある。石造文化財には七社とある。

薙鎌とは

広辞苑には「物を横なぎに刈る刃物」「鎌に長い柄をつけて人馬の脚をなぎ払う武器」とあり、音便形で「ないがま」ともいう。信仰との関わりは記されていない。

諏訪市博物館のホームページでは「諏訪神社の神器で、もとは草を刈り、穂を

つむ道具であつたと思われ、開拓のシンボルとした。しかし、しだいに大形化して、鳥のくちばしのような形になりました」とある。

諏訪市出身の考古学者藤村栄一氏「明治四十

四（一九一一年）年昭和四十（一九六五年）年、昭和三十（一九六二年）年十一月二十五日発行の「信濃」第十四卷第十一号の諏訪神社の考古学的研究「薙鎌考」に「…奇怪な鎌…」と記している。末尾には

「…鎌倉時代ころ開拓神としての信仰と結びつき、あの奇怪な薙鎌が薄い刃のなない仮器の姿を現したものだ



▲麻績村のカッパライ鎌



▲日向神社の宝物「薙鎌」

ろうと私は信じるのである。…と締めくくっている。二枚の写真が掲載されているが、諏訪下宮の薙鎌は三メートル余の柄がつけられている。儀式の行列の神器と推考される。

下諏訪町所見のカッパライ鎌は、人の背丈である。南木曾町博物館の県宝「南木曾町林業資料」二八一点の内に二点のカッパライ鎌がある。

麻績村でも、植林地の造成や手入れにカッパライ鎌が使われた。

次号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸

本の森だより

おみ 図書館

私の本棚へ夏へ

地域の皆さんからのお薦め本をご紹介します、このコーナーも夏バージョンになりました。

今回は三月までおみ図書館で勤務していただいた、本町の山田ひかりさんをお願いしました。テーマは「夏休みにおすすめの本」です。



▲危険な暑さの日は、ゆっくり読書いかがですか？

夏休みの宿題で読んだ思い出の本や、夏休みの旅行に参考になる本、旅心をくすぐる本等、六冊が並んでいます。夏の読書のお供に手に取ってご覧ください。

直木賞発表！

前々回の直木賞は、芥川賞とともに異例の該当作品無しとなり、この夏もしやと心配していましたが、無事発表されました。

けんぐわい

朝倉かすみ 著



光文社

作者はじめての時代小説。三回目のノミネートで受賞となりました。外見や身分で迫害された女性たちが、逆境に立ち向かいながら、自分たちの居場所を見つけていく物語です。ご予約お待ちしております。

児童の作品展示コーナー

図書館正面展示スペースに、小学生の田原佐和乃さん（天王）の作品が昨年に引き続き展示されました。

今回は「ねことステンドグラス」と題した、明るく彩り豊かな作品が並びました。

来館された方からは、「見ているだけで心が明るくなるね」などと感想を寄せていただきました。



▲ねこが大好きです

児童が図工の授業で制作した作品も展示しています。地域の皆さんにもお楽しみいただけたら幸いです。ご来館の際はぜひご鑑賞ください。



▲個性あふれる作品が館内を彩る

麻績小学校図書館便り

星に願いを！

今年、旧暦の七夕は八月十九日。県内では月遅れの八月七日に行うところが多いのですが、学校は夏休みにあたるため、七月に七夕に関する本を読み語りしています。

織姫（ベガ）・彦星（アルタイル）の星物語だけでなく、夏の大三角についてや、二人の距離は十五光年も離れていること（残念ながら実際一年に一度というのは無理）、ベガの大きさは太陽の三倍！ 短冊は、天の川から降りてきてサトイモにたまったつゆで墨をすり、願いを込めて字を書いたことなどを紹介すると、興味津々でした。

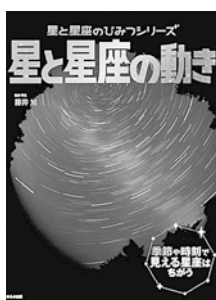
そして、地域の方からいただいた笹竹を昇降口と図書館に立てかけて短冊を置くと、「かぞくが長生きできますように」「ピアノがじょうずになりますように」「世界平和」など、さっそうく思っている願い事を書いていました。



▲みんなの願いが叶うといいな！

前月の図書館

来館者数 397人
貸出冊数 738冊
ご来館ありがとうございます。



藤井 旭 監修
ほるぷ出版



関口ジュン 著
福音館書店

夏休みには、ぜひご家族で星空を見上げ、広い宇宙に思いを馳せてみませんか？こちらの本もおすすめです。



文化祭参加者募集

令和八年度麻績村文化祭を十月三十一日(土)と十一月一日(日)に、地域交流センターで開催する予定です。

初日の十月三十一日に芸能発表会を開催する予定です。参加できる団体は、九月四日(金)までに麻績村公民館(☎六七二二四〇)までお申し込みください。公民館クラブ・サークル団体には、締切日以降に会議通知を発送します。

作品展示は、文化祭開催直前まで募集しますが、大きく展示スペースが必要な作品は、九月二十八日(月)までにご連絡ください。

多くの皆さまのご参加お待ちしております。

福祉のお仕事 就職フェア二〇二六

ハローワーク松本では、長野県、長野県社会福祉協議会、長野県看護協会、介護労働安定センター長野支部との共催で、福祉の職場を希望、資格等について知りたい方などを対象とした就職フェアを開催します。

福祉の事業所や仕事・資格の説明、福祉事務所の方との面接ができますので、詳しく知りたいという方は、お問い合わせください。長野県福祉人材センターのホームページにも掲載しています。

日時

八月十二日(水)

午後一時三十分

から三時三十分

会場

ホテルブエナビスタ

三階グラウンデ

(松本市本庄二二二)

対象者

令和九年三月卒業予定の学生、福祉の仕事に興味のある一般の方

(入場無料)

参加事業所

中南信地区に就業場所のある福祉関係事業所四十九社

お問い合わせ先

・ハローワーク松本

(☎二七〇一一)

【四一井】

・長野県福祉人材センター

(☎〇二六二二六)

一七三三〇)

放送大学第二学期

(十月入学) 学生募集

放送大学は、正規の通信制大学としてテレビ・ラジオ等の放送メディアやインターネットを用いて遠隔による大学教育を推進し、レベルの高い学習の機会を広く提供することを目的に約三〇〇科目の放送授業を開講しています。「学士(教養)」「修士(学術)」の学位の取得を目指す「全科履修生」と、学びたい科目だけを選択して一年間、または半年間だけ在籍して学ぶ「選科履修生」か「科目履修生」の三つの学生種から自分にあったスタイルを選択して自由に学べる入学試験

験が無い大学です。

放送大学で学びたい、詳しく知りたい方は、お問い合わせ下さい。

募集締め切り

九月九日(水)まで

お問い合わせ先

放送大学

長野学習センター

〒三九二一〇〇四

諏訪市諏訪一六一一

アーク諏訪三階

☎〇二六六五八

一三三三二)

公民館行事の予定

●第四回麻績学級

日時…八月二十八日(金)

午後二時から

場所…地域交流センター

講師…長野県農政部農村振興課地域営農係

内容…長野県の農作業事故

・安全啓発

●第五回麻績学級

日時…九月十九日(土)

午前八時二十分集合

講師…麻績村聖博物館名誉館長 宮下健司さん

内容…松本市「牛伏川堰堤

視察研修」

備考…マイクロバス移動

参加費五百円

定員十九名

●第二回

松本山雅サッカー教室

日時…九月十二日(土)

午前九時三十分から

場所…村体育館

講師…松本山雅FC

備考…①年齢は問いませんが、小学生以下の方は保護者同伴

②持ち物は、運動ができる服装と屋内シ

ューズ、飲み物

ユーズ、飲み物



ご冥福を祈る

坂口 袈裟美 94歳 横屋

吉野 芳三 77歳 野口

お詫びと訂正

館報六月号五面「元氣通信」の四段目「全校交流集会」記事において、執筆者に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。正しくは、次のとおりです。

二年 飯森 由彩